

別表2

教育上必要な機械器具、標本、模型

教育分野	品 目	数量
専門基礎分野	人体のしくみ・疾病と治療	血压計 ○救急蘇生装置（AED）シミュレーター
		10人に1台以上1学級分 1台以上
共通する機械器具	動画記録・再生システム	2式
	音声録音再生装置	10人に1台以上1学級分
	訓練教材（各種）	適当数
	コミュニケーションエイド（各種）	適当数
失語・高次脳機能障害学/言語発達障害学	心理検査・言語検査用具（各種）	適当数
専門分野	音響分析装置	1台以上
	○呼吸機能検査装置	1台以上
	○発声機能検査装置	1台以上
	人工喉頭	1台以上
	発声発語器官検査・用具一式（鼻息鏡等）	適当数
	○舌圧計	10人に1台以上1学級分
	リクライニング椅子またはベッド	1台以上
	酸素飽和度測定器	10人に1台以上1学級分
	吸引装置一式	1台以上
	○内視鏡	1台以上
	オージオメータ（JIS診断用I型）	10人に1台以上1学級分
	○聴性誘発反応検査装置（ABR、ASSRを含む）	1台以上
聴覚障害学	幼児聴力検査装置（COR検査、PS検査等が可能なもの）	20人に1台以上1学級分
	○耳音響放射検査装置	1台以上
	インピーダンスオージオメータ	20人に1台以上1学級分
	補聴器（数種類）	適当数
	補聴器特性測定装置	20人に1台以上1学級分
	人工内耳マッピングシステム	1台以上
	騒音計	20人に1台以上1学級分
	○重心動搖計	1台以上
	フレンツェル眼鏡	1台以上
標本及び模型	人体解剖模型	1台以上
	聴覚系解剖模型	1台以上
	発声発語・嚥下系解剖模型	1台以上
	神経系解剖模型	1台以上

備考

○を付けたものについては、臨床実習施設において使用できる場合には、養成所に備えることを要しないこと。